



新図書館本館へのご案内

リニューアルされた 図書館本館へようこそ

徳島大学附属図書館長

際田 弘志

この度、附属図書館本館は改修工事が行われリニューアルされました。新装なった図書館は、学習環境の最適化、いわゆる**ラーニング・コモンス**を核に、学習とコミュニケーションの場としての再生を目指しております。ラーニング・コモンスとは、学生の皆さんにとって、学習に必要なもの、サービス等がすべて整っているような学習環境を意味します。今回の改修により、ハード面ではすばらしい環境が実現しましたのでこの場を借りてその主なものをご紹介します。

1階を**コミュニケーションエリア**と位置づけ、玄関の近くに、飲食が可能なカフェテリア、東側にはICT機器のそろったマルチメディアコーナー、視聴覚コーナーを設け映像・音楽資料を配置し、使いやすく快適になっております。

2階、3階は学習に集中できるよう**サイレントエリア**と位置づけ、それぞれ自然系・人文系・社会系の学習用図書と個人感覚で利用できる閲覧機を増設した閲覧室3室を整備し、さらに静粛な研究個室8室を設けました。3階のマルチメディアコーナーは机の配置を個人利用向けにしております。

その他に、3階には会議室・地域連携・教育支援等フレキシブルに部屋空間を変更可能な多目的ホールと講演会と関連して企画展示ができる展示室を設けました。また、図書館資料保存に最適な設備の完備した和装本資料室・貴重資料室も整備することができました。

今後は、ソフト面での充実を図り、図書資料、電子情報、情報機器等をハイブリッドに活用していただくための利用支援サービスの向上に努めていきたいと思っております。具体的には、検討ワーキングを立ち上げ、新たな試みにも

チャレンジしたいと考えております。利用者の皆様のお声を反映し、さらなる**ラーニング・コモンス**の実践に向けて、より進化した図書館を目指しますので、皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回の改修にご尽力いただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。



[1階]マルチメディアコーナー



[1階]カフェテリア



「1階」視聴覚
プラウジングコーナー

[2階]個人学習機
パーティション・システム



海外体験記

カナダ トロント大学 にて

大学院ソシオテクノサイエンス研究部
先進物質材料部門

柳谷 伸一郎 やなぎや しんいちろう

平成20年9月より平成21年度2月の6ヶ月間、徳島大学のサバティカル制度を利用して、カナダ・トロント大学に滞在しました。

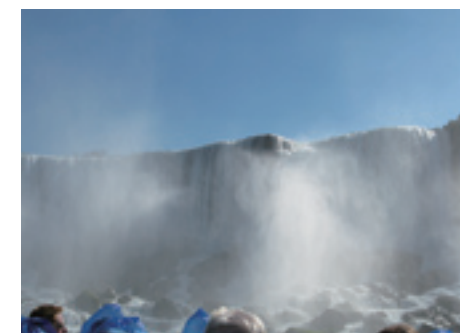
トロント大学では、電子情報工学科のヘルミー先生にお世話いただき、有機半導体薄膜の分光エリプソメトリー、ラマン分光測定のほか、微細加工技術の基礎的なところを学ぶことができました。ヘルミー先生は、III-V族化合物半導体のオプトエレクトロニクスが専門であり、私とは専門が異なるのですが、新しい知識や技術を得たいと思いコンタクトをとりました。この辺が、在外研究や学振など公募型の研究留学ではできなかったところだと思っています。ヘルミー先生も、有機オプトエレクトロニクスに関するグループを立ち上げた(このことは向こうに行ってから知ったのですが)こともあり、受け入れてもらえました。

トロントはオンタリオ州の州都であり、カナダ最大の都市です。カナダは、英語とフランス語が公用語ですが、イギリス系移民の多いトロントではフランス語が必要な場面は全くありませんでした(第二外国語がフランス語だったので少し残念ではありましたが)。また、トロントは世界有数の多民族都市であり、そのため、第二言語としての英語(ゆっくり話す、聞き直す、発音がおかしいなど)に非常に寛容であり、国際語としての英語を学びたい人々には非常にいい環境だと感じました。トロント市内には、何力所か政府のやっているESL(English for Second Language)の学校があり、私は、二ヶ月間だけ週一で発音のクラスに、参加しました。雰囲気だけ経験してきたような感じですが、料金も、日本とは比較にならない金額(一時間当たり500円程度、移民の人はさらに安いor無料らしい)で

受講することができるので、チャンスがあったら受講してみることをお勧めします。

半年間通っていた、トロント大学電子情報工学科のあるセントジョージキャンパスは、トロント市の中心に位置しており、キャンパスの中には旧スパダイナ邸やユニバーシティカレッジをはじめ多くの歴史的建造物が立ち並び、滞在中には、大学の中を巡るツアーに参加する観光客の姿をよく見かけました。私自身も家内と当時1才の双子の娘を二人乗り用ベビーカーに乗せて、近くのロイヤルオンタリオ博物館(ROM)や、オンタリオ美術館(AGO)、ヨークビル地区など休みの日に散歩したことが一番の思い出です。

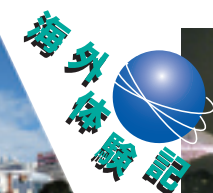
子育てをしながらの半年間だったので、トロント市から出たのはナイアガラの滝を観光しに行った一度だけでした。ナイアガラは、トロント市街から車を使って1、2時間程度で着きます。トロントにはH.I.S.の支店があり、現地ツアーに申し込んでほぼドアtoドアで連れて行ってもらいましたが、天気予報をみながら、土曜日に行く予定を木曜日に入れられる地の利を生かして、カナダの紅葉とナイアガラの滝を同時に楽しむことができました。



▲船から見上げる
ナイアガラの滝



◀春から秋にかけて、
観光船 Maid of Mist 号が
運行されています



トロント市庁舎(奥)とスケートリンク



ロイヤルオンタリオ博物館



トロント大学図書館

ユニバーシティ
カレッジ



旧スパダイナ邸。オンタリオ湖を家の窓から
毎日眺めたいがために、道のど真ん中に建てた家。
ちなみに通りの名前もスパダイナアベニュー。



ナイアガラの渦潮